A）中寺廃寺跡・満濃池遠景（南東より）

B）平成17年度調査区遠景（南より）

C）第1テラス調査着手前状況（北東より）

D）第3テラス調査着手前状況（北東より）

E）第2テラス調査着手前状況（東より）

図版４

Ｂ地区第１テラス

A）礎石建物跡完掘状況（北東より）

B）土壇北西角石列（北西より）

C）建物東辺中央部階段石材散布状況(東より)

D）建物中央の礎石（北西より）

E）北東角礎石掘り方断面（西より）

Ｂ地区第１テラス

A）広場より大川山を望む（北西より）

B）E－E″ 断面（北東より）

C）B－B′ 断面（北西より）

D）A－A′ 断面（東より）

E）C－C′ 断面（西より）

図版６

Ｂ地区第２テラス

A)エリアA完掘状況(南より)

B)エリアB 遺構検出状況(南より)

C)エリアA　f−f´左:SD02右:SD01(北東より)

D)エリアA　SP06(SB01を構成)断面(南東より)

E)エリアA　SP08(SB02を構成)断面(南東より)

Ｂ地区第２テラス

A）SP03断面（SB03を構成）（南より）

B）SP12 遺物出土状況（東より）

C）SP16・SK02断面（北より）

D）SP16・SK02多口瓶出土状況（東より）

B地区第3テラス

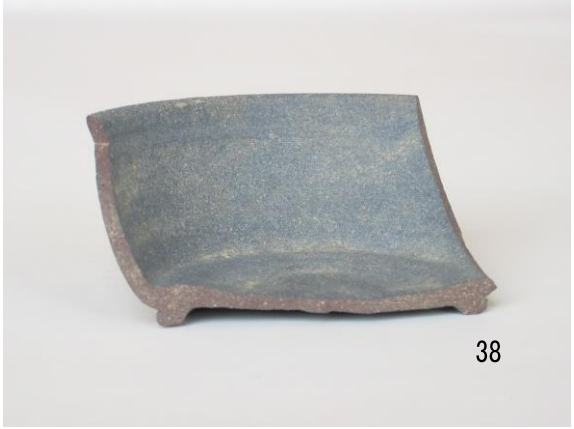
E）遺構検出状況（南より）

図版８

A）B地区第2テラスSP16・SK02他出土多口瓶

B）第2テラスSD02出土越州窯系青磁椀

C）第2テラスSP12出土須恵器壺

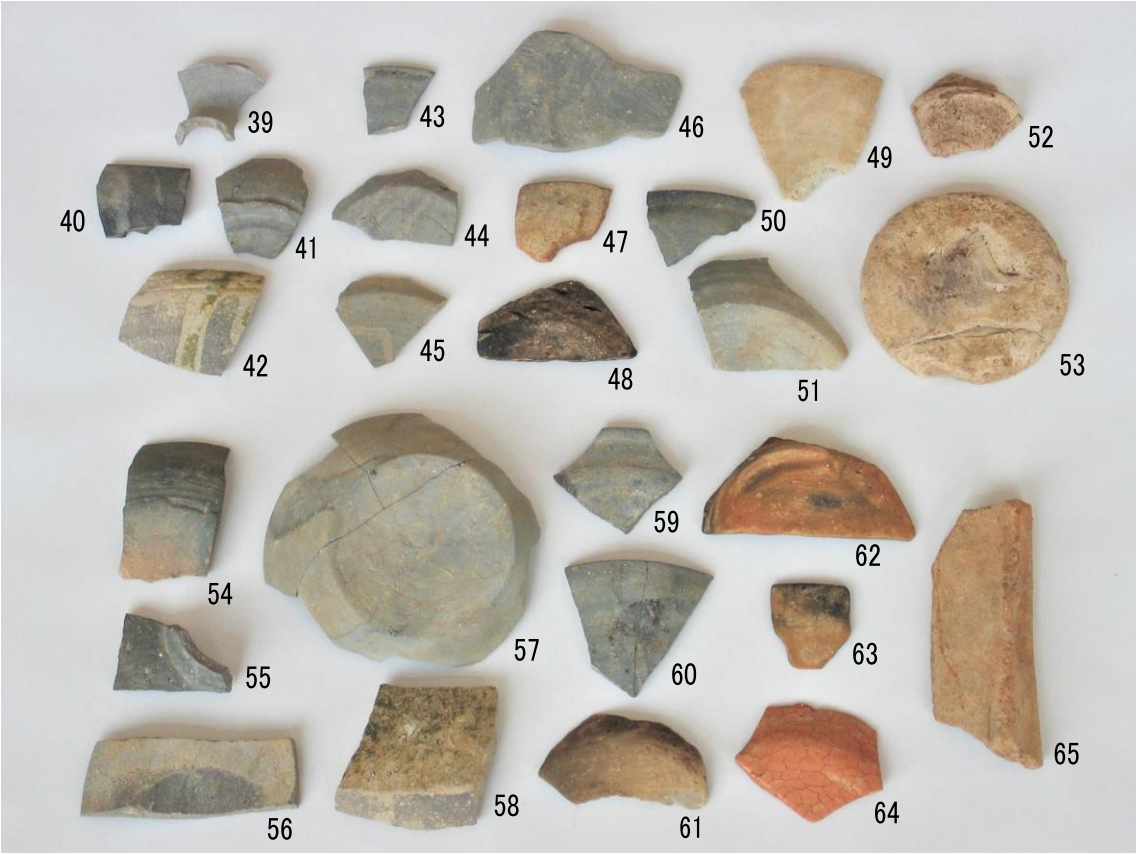


D）第2テラス盛土直上出土須恵器坏

A）B地区第1テラス出土遺物（内面）

B）B地区第1テラス出土遺物（外面）

A）B地区第2第3テラス出土遺物（内面）

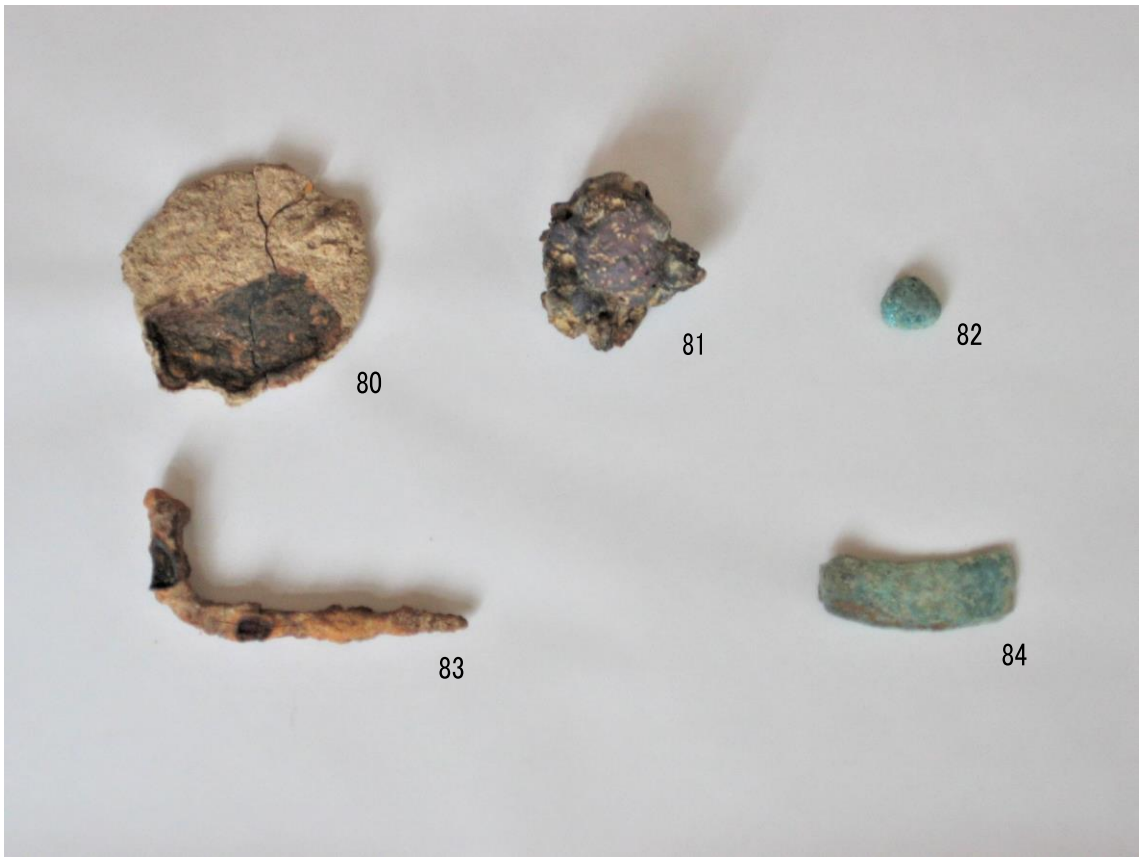


B）B地区第2・第3テラス出土遺物（外面）

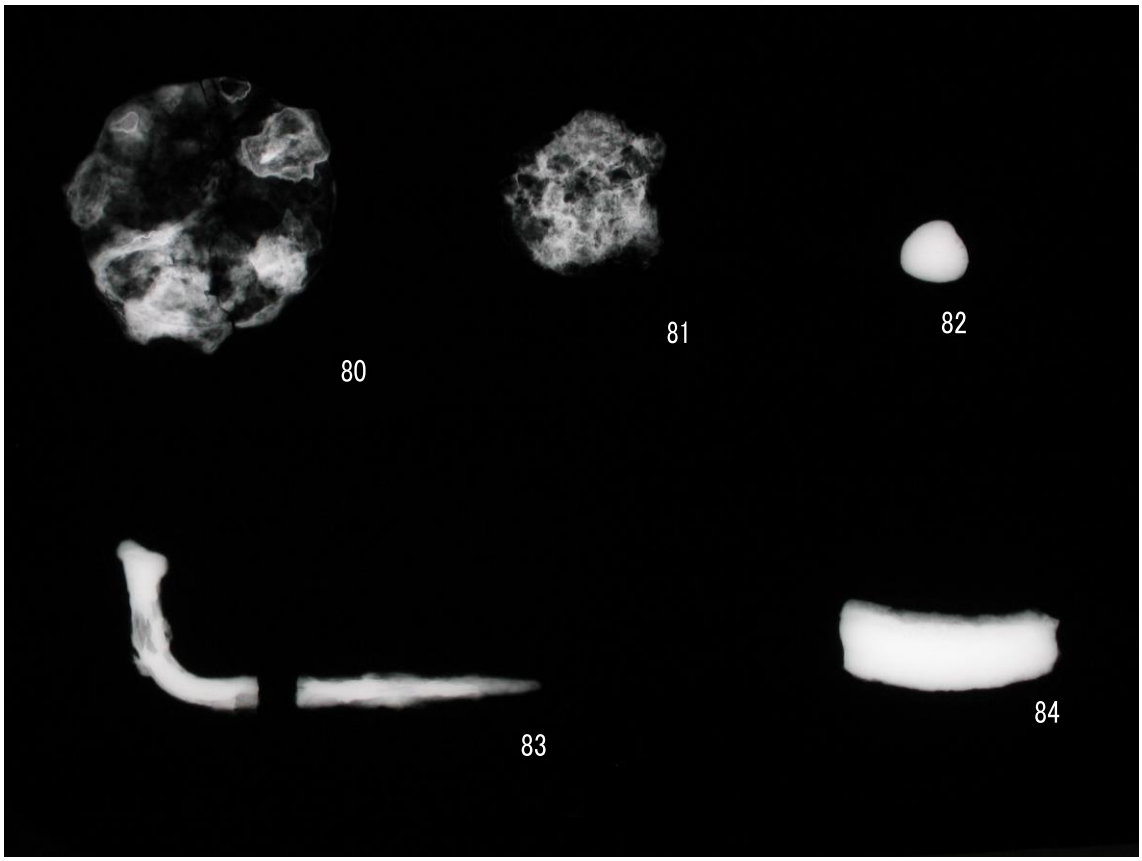
A）B地区第3テラス・第2～第3テラス間斜面出土遺物（内面）

B）B地区第3テラス・第2～第3テラス間斜面出土遺物（外面）

図版 12



A）B地区出土金属遺物



B）B地区出土金属製品X線透過写真

報 告 書 抄 録

ふ り が な	へいせい 17 ねんど　なかでらはいじあとはっくつちょうさほうこくしょ
書　　名	平成 17 年度　中寺廃寺跡発掘調査報告書
副 書 名	
巻　　次	2006．3
シリーズ名	琴南町内遺跡発掘調査報告書
シリーズ番号	第２集
編 著 者 名	加納裕之
編 集 機 関	琴南町教育委員会
所　在　地	〒766－0202 香川県仲多度郡琴南町中通 875 番地 琴南公民館内 TEL(0877)85－2221
発 行 機 関	琴南町教育委員会
発行年月日	2006 年３月 10 日

総頁数	目次等	本文	図版	表	挿図枚数	写真枚数
51 頁	6 頁	34 頁	11 頁	3 枚	10 枚	49 枚

所収遺跡名（ふりがな）	所在地（ふりがな）	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
中寺廃寺跡（なかでらはいじあと）	香川県 仲多度郡 琴南町 造田 3469 - 2	37401		34 度 7 分 19 秒	133 度 55 分 3 秒	2005.6.9 ～ 2005.12.3	300 ㎡	確認調査

所収遺跡名	種　別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
中寺廃寺跡	山岳寺院	平　安	掘立柱建物跡、礎石建物跡、土壇、溝状遺構、柱穴	須恵器、土師器、黒色土器、金属遺物、越州窯系青磁椀、須恵器多口瓶	山岳仏教草創期の山岳寺院仏堂・僧房における発掘調査

要約

中寺廃寺跡は集落から離れた標高 675m～730mの山中に立地する山岳寺院である。創建時期は山岳仏教草創期である９世紀に遡る。建物跡は３～６棟ごとに４地区に分かれ、約１km 四方の範囲に遺構が展開している。各地区においては集石・土壇・礎石を確認しており、寺院を構成する多様な伽藍が展開していたと考えられる。今年度は遺跡北東に位置する地区において、仏堂跡・僧坊跡と考えられる建物跡を調査した。仏堂跡においては基壇を伴う５間×３間の礎石建物跡を確認しており、礎石建物中央には修弥壇を支えたと考えられる礎石を確認した。僧房跡においては掘立柱建物跡を数棟し建物跡の柱穴からは西播磨産須恵器多口瓶が埋納状態で出土し、建物に伴う排水溝より越州窯系の青磁椀が出土し、これらの成果により山中への寺院展開の背後に大きな勢力が関わっていたと考えられる。また、既存調査成果とあわせ中寺廃寺跡伽藍の展開の変遷が明らかになりつつあり、山岳仏教草創期の山岳寺院の展開を考える上で重要な遺跡と考えられる。

琴南町内遺跡発掘調査報告書　第２集

中　寺　廃　寺　跡

平成 17 年度

編集・発行：琴南町教育委員会

※題字は金澤正親氏による

印刷：株式会社 美巧社

発行年月日：平成 18 年３月 10 日